



平成 30 年 6 月 13 日  
学 術 情 報 課

## 横浜開港を知る貴重資料 「環海航路絵巻」の複製贈呈式を開催！

横浜市立大学学術情報センター（図書館）所蔵の貴重資料「環海航路絵巻」※<sup>1</sup>の複製が、富士ゼロックス株式会社※<sup>2</sup>により製作されたことを受け、贈呈式を6月22日（金）に実施します。

「環海航路絵巻」は、萬延元年（1860年）遣米使節の中の一人が描いたとされる紀行絵巻で、欧米文化を積極的に取り入れようとした近代日本の原点を探ることができる大変貴重な資料です。本資料は、歴史的価値が非常に高く、他機関での所蔵がない一点物であり、色彩の鮮やかさや、利用者から展示を望む声が多かったことから複製対象として選定しました。これまで展示等には大きな制限がありましたが、今回の複製の製作により広く市民の方に手に取ってご覧いただくことが可能になりました。

今後は、横浜開港期の様子を知ることができる本資料を市民の方へ広く公開する機会を設けていきます。

### <贈呈式 概要>

日 時：平成30年6月22日（金）16時30分～（予定）

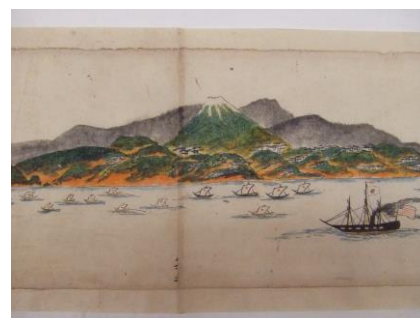
出席者：富士ゼロックス株式会社 中央営業事業部

公共営業統括部長 沢辺 和浩 他

横浜市立大学学術情報センター長 三浦 敬 他

会 場：横浜市立大学市大交流プラザ多目的ホール（いちょうの館）

横浜市金沢区瀬戸 22-2（京浜急行「金沢八景」駅 徒歩5分）



「環海航路絵巻」の一部

### <平成30年度の展示予定>

#### (1) 学術情報センター館内展示

7月～8月の期間、複製及び関連資料を学術情報センター内で展示します。

また、8月7日（火）、8日（水）のオープンキャンパスでも、複製に触れて資料を閲覧できる機会を設けます。

#### (2) 市民講座における学外展示

12月に市民講座を開催し、複製の展示など本センター所蔵の貴重な資料を市民の方に紹介します。

#### ※1 「環海航路絵巻」（刊行年不明、著者不明）

本資料は、幕末の1860（万延元）年、江戸幕府が初めて外国（アメリカ）に派遣した使節（万延元年遣米使節）の往路（第一巻）と復路（第二巻）の様子を描いた彩色絵巻で、鮎沢信太郎コレクションに所収されています。作者は記名等がないため特定はできていませんが、使節一行のひとりと考えられています。各絵には、訪れた地名や都市名と横浜からの距離、あるいは描いた物の名称、特徴等の短い添え書きがあります。絵巻の大きさは縦約14cm・横約904cm（第一巻）と、縦約14cm・横約677cm（第二巻）です。

#### ※2 富士ゼロックス株式会社

本社所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号

代表取締役社長：栗原 博

富士ゼロックス株式会社は、社会貢献活動の一環として2008年より「文化伝承活動」を行っています。「文化伝承活動」は、伝統文書の複製・活用を支援する事業で、原本の複製を製作することにより公開機会を増やし、手に取って利用できる等の活用の推進、次世代への文化伝承、文化発展に貢献することを目的としています。これまで神社仏閣、市町村、大学、企業等に250点以上の複製品を贈呈しています。

※取材をご希望の方は、前日までに以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

お問い合わせ先

学務・教務部 学術情報課長 河西 徹 Tel 045-787-2071